

ふれあい
茨城

CONTENTS

- 1 **協会事業** 第32回外国人による日本語スピーチコンテストを開催しました!
令和4年度 国際理解教育講師等派遣事業 (ワールドキャラバン)
- 2-3 **GLOBAL VIEW**
これからの「地域をつくる担い手」とは?
- 4-5 **交流の広場** 市民として溶け込めるように
第20回ひたち国際文化まつり開催を迎えて
Young Eyes/Across Culture
- 地球だより**
6 タイ市場を開拓する。日本食の海外展開のポテンシャル
- 県だより**
「災害時外国人支援研修」を開催しました
- 7 **For You** お知らせ
- 8 **Said & Did**

第32回外国人による日本語スピーチコンテストを開催しました!



2月18日(土)、ザ・ヒロサワ・シティ会館小ホールにて、第32回外国人による日本語スピーチコンテストを開催しました。3年ぶりに観覧者を入れての会場開催となり、当日は活気に溢れていました。YouTubeライブ配信も行いました。このコンテストは、県内で生活している外国人の皆さんが日頃考えていることや、日本・茨城の印象、母国の話など、県民との相互理解を深めるテーマを日本語で発表し、異文化交流を促進するものです。

16か国43名の方から応募があり、選考の結果、インドネシア、韓国、キルギス、タイ、中国、トルコ、パキスタン、フランス、ベトナム、南アフリカ、モンゴルの11か国、男女15名の方々に発表していただきました。

其々異なる文化的背景を持った15名が、日本での体験をもとに様々なテーマで話す内容は、どれもなるほどと感じるところがありました。一つ一つのスピーチが聴衆に響くものであり、国際理解を深める良い機会となったことと思います。

また、民族衣装を着てスピーチをした発表者もあり、華やいた雰囲気会場をさらに盛り上げてくれました。

今年も、15の協賛企業・団体から素晴らしい賞品を提供いただき、発表者全員に各賞が行きわたりました。

コンテストの動画は、3月31日(金)までYouTubeでご覧いただけます。

上位入賞者は以下の通りです。

| 賞 | 受賞者・タイトル |
|--------------------|--|
| 茨城県知事賞/若人賞 | キム ヒョンミン(韓国出身) / 「不思議だらけの居酒屋」 |
| 茨城県議会議長賞 | ショシナン マーティン(フランス出身) / 「とうふはおいしい?」 |
| 茨城県教育長賞/日本語ボランティア賞 | ナムウォン ボンコット(タイ出身) / 「いばらきガパオ」 |
| ひばり賞 | エセンオール ヤームル(トルコ出身) / 「剣道が私をどのように変えたか?」 |

視聴サイト

3月31日まで



<https://www.youtube.com/watch?v=O-zS58Xmf6M>

令和4年度 国際理解教育講師等派遣事業(ワールドキャラバン)

ワールドキャラバンとは

県内の学校や生涯学習関係機関、並びに国際交流団体等に、外国人等講師や参加型学習のためのファシリテーターを派遣する制度です。参加者に、外国人と直接対話する機会やワークショップ等を体験する機会を提供することによって、国際理解を深め、国際社会で活躍できる人材の育成を図ることを目的としています。

今年度は、県内の小・中・義務教育学校・高・特別支援学校、生涯学習団体等に、外国人講師等を52団体・70件派遣しました。

学校からは、「講師の方が生徒たちに優しく接してくださったので、生徒たちもより親しみをもってかかわることができました。」「直接、その国の人の声で、その国のことを聞くという経験が非常に大切だと思っていて、高校生の時期にそういう経験をさせることが出来て良かったです。」などの感想をもらいました。

また外国人講師からは、「異文化に対する生徒たちの好奇心が高く、まだ行ったことのない国のことを紹介できて、大変有意義な時間になったと思います。」「母国は発展途上国であり、多くの学生にはあまり知られていない印象がありました。今回、ワールドキャラバンを通じて、自分の国を紹介できたことにとっても感謝しています。」などの感想をもらいました。

令和5年度の派遣募集(申請方法等)については、準備ができ次第当協会ホームページに掲載予定です。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。



GlobalView

特集 ▶ これからの「地域をつくる担い手」とは？ ～茨城県地域日本語教育の体制づくり事業を進めるスタッフ談義のひとコマ～

2月20日(月)オンライン開催した「茨城県地域日本語教育の体制づくり推進事業」年度報告会では、市町村職員、市町村国際交流協会、日本語ボランティア団体などから80名超の多数のご参加をいただきました。どうもありがとうございます。さて、日頃スタッフはあれこれ悩み、意見交換しながら企画立案しています。そのひとコマをお見せします。



スタッフ紹介

地域日本語教育推進員(2名)

仙波 美哉子、羽鳥 愛

地域日本語教育コーディネーター(4名)

内田 ちひろ、蔭木 隆、推進員2名(兼務)

総括コーディネーター(1名)

加藤 雅春(当協会交流推進課長)

ほか県女性活躍・県民協働課職員、協会職員

茨城県地域日本語教育の体制づくり 地域日本語教育コーディネーター

地域で暮らす外国人への日本語学習支援と地域とのつながりづくりのため、地域特性をふまえ、多様な関係者間の橋渡し、意見調整を行います。

ウメ (県西) エリア担当
内田 ちひろ
・地域日本語サテライト代表
・日本語教師
——メッセージ——
外国ルーツの方が多くなりました。特に地域に暮らす外国人としてお互い幸せに暮らせるように官横と一緒に考え、活動していきたいです。

ヒラメ (県東～県北) エリア担当
仙波 美哉子
・地域日本語教育推進員
・ひたちなか市国際交流協会副代表
——メッセージ——
地域日本語教育を通して全ての人が安心して暮らせる地域づくりを皆さんと考えていきたいです。

バラ (県南) エリア担当
蔭木 隆
・国際交流基金
・日本語パートナーズ インドネシア派遣
・地域日本語ボランティア教室活動中
——メッセージ——
「楽しい」から始まる地域住民のつながり作りをいっしょに!

ヒバリ (県央～鹿行) エリア担当
羽鳥 愛
・地域日本語教育推進員
・多文化共生グループおみたまじん代表
——メッセージ——
外国人と日本人住民が共に暮らすしやすい地域づくりについて、皆さんのご意見をぜひお聞かせください。

問い合わせはお気軽に! (公財)茨城県国際交流協会 ☎029-241-1611 ✉ifa@ia-ibaraki.or.jp

ある日の総括コーディネーターと地域日本語教育推進員2名のやりとり



“地域日本語教育”が“地域社会づくり”って、一般の方に伝わるのかな？

- 日本で暮らす外国人の数が増加している。国の外国人材受入れ方針の影響は大きいなあ。
- これまで、国内では外国人と一緒に暮らすという地域が少なく、共生の文化がない地域がほとんどだったと思う。
- 外国人が地域に入っていけるようにするのが地域日本語教育の役割だよ。
- 日本人は少子高齢化が進み、また若い人は日々忙しいと感じる人が多い。時間の使い方・楽しみ方も昔と違ってきたね。
- 地域に異なる言語・文化を持つ外国人が入ってきている。日本人側の状況も変化している。地域社会の様相が違ってきた今こそ、地域が変わるべきときなんだと思う。
- 日本人とともに多様な外国人が地域づくりの担い手として、みんなで参画できる社会にしたいね。

理想の日本語教室のイメージ？

- 何と言っても(日本人も外国人も)みんなが来て楽しいところだね。
- 学びがある場所ってことは欠かせないかな。でも、「教室」っていうと学校みたい、それは少し違うなあ。
- 日本語ボランティア教室のお茶休憩の時間にいろいろな言語の歓談が聞こえ、日本人も外国人もそれぞれ自分が興味ある話題で交流していた雰囲気まさに居場所って思った。でもそれだけだとニーズ(学びたいという外国人や、何かの役に立ちたいという日本人など)に答えていないからうまくいかないな。
- 教室の在り方に一つの正解はなくて、地域に合ったスタイルを目指せるといいよね。地域日本語教育活動って、何のためにやっているか目指すことがあれば教えるという活動があってもよいのかも。外国人に「何したいですか?」って聞いても即答できないと思うよ。日本人がリードしすぎて外国人は来なくなっちゃうなあ。例えば日本人側は「聴く、待つ」の姿勢で心の余裕をつくり、外国人が発するメッセージが受け取れるようになるといいね。

外国人とのコミュニケーションにコツってある？

- 一人ひとりでは違うので、相手に合わせること、アレンジすること、相手に合ったコミュニケーションを心がけることがポイントかな。
- 雑談から生まれる対話がうまくいくと、外国人が興味あることもうまく聞き出せるよ。

- 日本語教室って、日本語という「壁」を感じるからこそ、それを乗り越えようとする外国人とそれをお手伝いしたいと思う日本人がたまたま巡り合うってところじゃないかな。日本語の壁があるからこそ人が集まってくると思う。
- いや、日常生活で日本語が壁っていう外国人ばかりじゃなくて、自分の生活を文化的により豊かにしたい、あるいは人間関係をよりよくする文化を知りたいという目的で地域の日本語教室に来る外国人もいるよ。

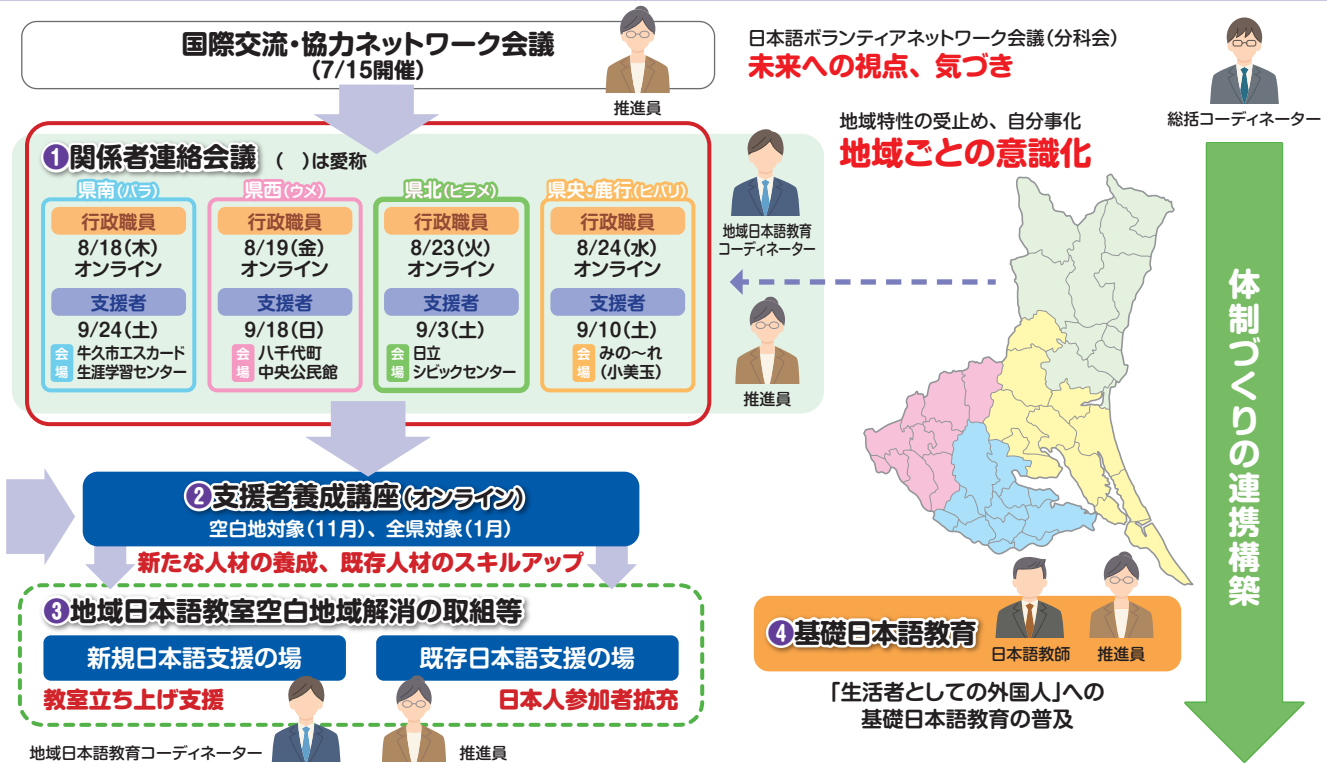
- 地域にいながらにして世界の文化を知ることができるね。
- 仲間には大きすぎるって笑われるけれど「世界平和につながる活動だ」って思ってるよ。
- 日本人に友達が増える。
- 外国人の悩みを知ることもあるよ。暮らしの問題だと行政に相談だと思うけど、複雑な問題ほど解決が難しいこともある。そんな時は専門機関やNPOなどにつなげることができる可能性があるね。日本語教室は色々な人が関わり交流する場、情報も色々あるよ。

地域に日本語教室があると、どんな発見がある!?

- (日本人、外国人共通に)「こんな人がここに住んでるんだな」って日常では出会わない人たちに出会うことができる。○○さんの意外な側面がわかるかも。
- 日本語ができるようになって同国人に対し誇らしげに自信が持てる外国人もいるよ。

私たちは今後も県民の皆さんと顔が見える関係をつくり、様々なご意見に耳を傾けながら励んでまいります。今後の研修や会議の場で皆さんのご意見をぜひお聞かせください。

令和4年度事業報告から(主要取組)



①地域日本語教育関係者連絡会議

県内を4地域に分け、地域ごとに行政職員向けと支援者向けに分けて開催。

行政職員向け「外国人の生の声を聞いてみよう」ワークショップ
自治体と地域日本語教室との連携を意識しました。在住外国人も市民の一人だと強く意識できました。

支援者向け「地域日本語教室から広がる可能性」ワークショップ
自らの活動の原点や動機を振り返りながら、今後の支援のあり方を考えました。

③地域日本語教室空白地域解消の取組等

高萩市、行方市を中心に、現地訪問等を通じ行政職員と支援者が会して話し合いの機会を設けるなどしました。地域日本語教育の機能の理解と、声を上げられない外国人に目を向ける住民・市職員の意識醸成を図りました。



②支援者養成講座

高萩市・行方市のための日本語支援を考える会
(日本語教室空白地2市対象)

私たちの茨城のための日本語支援を考える会(全県対象)

「多文化共生」「相互理解」を柱にした日本語支援について5回の連続講座で学びました。

日本語を教えるだけでなく外国人が地域の一員として安心して暮らせる居場所をつくることを理解しました。



④基礎日本語教育の取組

来年度からの本格実施に向け、県内各地在住の日本語教師で地域日本語教育活動等に関わる方々5名と推進員、総括コーディネーターにより、オンラインで5回の議論を行いました。県内の支援者不足や外国人参加者の多様性といった課題を踏まえ、日本語教師が行う日本語教育の場について、講師養成講座及び基礎日本語教育モデルコースのカリキュラム案を作成しました。

市民として溶け込めるように

かすみがうら市には人口の約3.3%の外国籍の方々が住んでいます。

日本には多くの市町村があるにも関わらずかすみがうら市に住んでいた
だいている方々がこのかすみがうら市に住んで良かった！と思ってもらえる
ように。良い思い出、第二のふるさとと思っただけのように活動を目指
しています。

そして、市民として溶け込めるようにお手伝いをさせていただいてい
ます。



日本語教室もその一つで月に4回（日曜
日コース2回（昼）、月曜日コース2回（夜）

また、バスツアーなどのイベントによる
交流活動を行い、お互いを知ること大切にしたいと考えています。

日本の風習、習慣はなかなかわかりにくいものがあります。一緒
の活動、行動によって知っていただければと思っています。

今後の方向性ですが、よりかすみがうら市に溶け込めるように各
国ごとにグループが作れないかと考えています。

身近な生活相談などは先輩に聞き、それでも解決できないもの
は私たち日本人に聞くというような感じです。

コロナも落ち着いてきましたので各イベントへの参加などを通じ
会員拡大を目指していききたいと思います。

かすみがうら市国際交流協会 須永 和義



交 の 広

第20回ひたち国際文化まつり開催を迎えて

ひたち国際文化まつり実行委員会 委員長 小澤 紀夫

「ひたち国際文化まつり」は、昨年11月の開催で20回目を迎えました。この事業は、ひたち
国際文化まつり実行委員会などが主催し、日立市内外の国際交流団体と協力の下、毎年秋に日
立シビックセンターを会場に、開催してきました。今回もコロナ禍の中で開催が危ぶまれました
が、関係者の熱い思いにより、去る11月13日、無事に開催することができました。

今回は、従来の参加団体に加え、「ヒッポファミリークラブ」「茨城県ユニセフ協会」「ひたちなか
市国際交流協会」「大洗マルシェ」などの参加が加わり、賑やかな開催となりました。

1階アトリウム空間には、小ステージが現れ、お琴体験やインドの踊りが賑や
かに進み、ギャラリーでは、「パンダアートコンテスト展示会」「JICA海外協力隊が
もらった今でも心に残る“あの言葉”」などが開催されました。2階では、インター
ナショナルトークと題して、日立市在住外国人の皆さんが来日の契機、来日前後
の日本の印象についてスピーチを行いました。5階では、お茶席体験と生け花
体験、7階では、外国人向け無料相談会が開催され、5組14人の相談がありま
した。屋外の広場でも、キッチンカーが賑やかさを添えていました。

前日の12日には、第20回を記念して、日立市民会館を会場に、モーリー
・ロバートソン氏の講演会を開催し、好評でした。

長く20年も続けてこられたものです。これも先人を含め開催関係者の熱い思
いと協力の賜物と思います。以前に比べ増えつつある外国人来場者の笑顔や外
国人と交流する来場者の方々の笑顔を見ますと、これからも国際文化交流活動
が活発に行われますことを願うばかりです。



YOUNG EYES

第19回「日本発/世界発:青年のメッセージ」 -第59回国際教育弁論大会(高校生のメッセージ)- 茨城県知事賞を受賞して

てくらも みゆ
茨城県立水海道第一高等学校1年 手倉森 心優



「国際的なテーマ」 私を苦しめたのはこの一文でした。

私は国際的という言葉に対して海外と日本の関わり方という印象があり、それ故に私には書くことのできないテーマだと思っていました。私には武器が無かったからです。

例えば、国際的と聞くと海外留学や戦争といった直接的な関わりをイメージしますが、私には海外の人と関わった経験などなく、戦争という世界中を巻き込んでいる問題に意見できるような知識も考えも持っていません。自分の思う「国際的」を書こうにも、書ける引き出しが少ない分野でした。

そんな時に母が言ったのです。「この世にある問題はすべて国際的に通じる」と。

最初は信じられなかった私ですが、よく考えてみると「国際的」は直接的なものだけではないことに気が付きました。私は今困っている問題だって国際的である。私はようやくペンを持つことが出来たのです。

せっかく書くのだから、出来るだけ相手に伝わりやすくそして何より聞いてくれた人が何かを得られた弁論だったと思えるように、論旨を練りました。

当日私は自分の納得した原稿を持っていくことが出来ました。そのはずでした。しかし、他の弁士の読む論旨は私が最初に考えた直接的なものがほとんどで、だんだんと自分の論旨に自信がなくなってしまいました。発表するときも声が震えていましたが母の言葉を思い出し何とか発表することが出来ました。

結局私の間接的な国際的は、母の言葉は、優勝という形で正しかったと証明されました。大会を通じて国際的という難しそうなテーマをととても身近に感じることが出来ました。私はこれから自信をもって言えます。身近な問題だって国際的なのだと。

演題：「正しい」って正しい?

具体的に身近な生活の中での例(図書館では静かにする)をあげ、自分が正しいと思っていることを絶対だと思わず、柔軟に対応することが、本当の意味で「皆」が平和に、幸せになる方法であると訴えた。



国際教育弁論大会(高校生のメッセージ)授賞式

流の場

ここが違って、おもしろい! Across culture

世界の料理ミーティング ~茨城県産食材を使って 多国籍料理を作る~



JA県中央会クオリテラボ

茨城県農業協同組合中央会(以下、JA県中央会)と当協会が連携して、留学生が中心となり、茨城県産食材を使った母国の料理作りを通して、各国の文化と茨城の食の魅力を感じていくという取り組みを始めました。

第一回は、ベトナム料理です。玉ねぎの切り方、スープにも砂糖の甘味、トウモロコシで甘いデザート、青パパイヤをキュウリで代用など、文化の違いが感じられました。留学生達は、普段から積極的に写真や動画を撮り、フェイスブック、インスタグラム、ティックトックなどを、ベトナム語、日本語、英語でそれぞれ発信しているそうです。ベトナムの友人や家族も見てくれて、茨城県に興味を持ってきているそうです。



第1回ベトナム料理ミーティング



ベトナム料理

道具で作ったのに、本格的で美味しい中国料理が出来上がりました。日本人は、大勢で料理を作る時、周りに気を遣いすぎて周囲の方に切り方や調味料の量等々…細かく確認しながら進めませんか?ここでは、自分の知識と経験でそれぞれ作り進め、周りを気にしすぎることなく、どんどん料理が出来上がっていきます。

料理は、それぞれの国の作り方・食べ方があり、言葉が通じなくても、コミュニケーションツールとなります。みなさんも海外渡航が難しい今だからこそ、茨城県産の食材を使い、多国籍の料理を作り異文化に触れてみませんか。料理ミーティングの様子は、YouTubeにて情報発信をしています。



第2回中国料理ミーティング



中国料理

「JAグループ茨城」
公式チャンネル



第1回ベトナム



第2回中国

地球だより

News from the earth



高校まで茨城で過ごし、大学卒業後、カンボジアの日本食輸入卸会社に勤務。その後、タイへの事業進出をサポートする会社を起業している20代の若きCEO大森さんにお話を伺いました。

タイ市場を開拓する。日本食の海外展開のポテンシャル

Daishin Food Expert CEO 大森 響

私はタイにて日本の企業様のタイへの事業進出、展開をサポートするサービスを行っております。主に食品関連の事業者様をメインで支援を行っておりますが、タイには非常に大きな日本食市場があり何と現在5,000店舗を超える日本食レストランがタイ全土に存在しています（日本貿易振興機構バンコク事務所調べ）。

そんなタイという国で生活をする中で、日本との大きな違いを感じる事が多々あります。一つは「マイペンライ」文化です。マイペンライは日本語で「大丈夫、問題ない」的な意味合いでタイ人の人々は会話の中で多用します。これはタイの人々の深層的な国民性を強く示しており、良く言えば楽観的、悪く言えば大雑把といった感じで様々な物事が進みます。

日本人として仕事をしていると感覚の違いを感じることもありますが、逆にそれがタイが「微笑みの国」と呼ばれる、ストレスを感じすぎない所以でもあるかと感じます。

もう一つ感じる大きな違いは、非常に高いデザインセンスです。これは単純なイラスト等のデザインのみでなく、ものづくり、建築、イベント会場、ひいては街づくりまで様々な所で洒落かつ機能性のバランスがとれたデザインが多く存在していてその高いレベルに驚かされるシーンが多々あります。近代的なものや場所から伝統的に古くからあるものや場所まで、様々なシーンで日本人感覚にはないデザイン設計がされており、勉強になることも多いです。

日本を含む海外からの訪問も非常に多く活気のあるタイですが、こんな側面を感じながら観光や視察に訪れてみると私たち日本人には普段触れることのない感覚を楽しめるかもしれません。



バンコクの有名デパート。お洒落にデザインされている。



屋台寿司。日本ではあまりみない具材も多数。



起業を支援した焼き芋店にて。大森CEO(左)。



県だより



「災害時外国人支援研修」を開催しました

茨城県県民生活環境部女性活躍・県民協働課 主任 荒木田 みのり

災害が起きたとき、外国人が困らないようにするためにはどうしたら良いでしょうか？

茨城県では、災害時に外国人支援に従事する自治体職員などを対象に、外国人支援に必要な知識を身につけるとともに、関係者間の連携強化を図ることを目的として、令和3年度から災害時外国人支援研修を「入門研修」、「専門研修」、「実践研修」の3回に分けて開催しています。

今年1月に実施した「実践研修」では、つくば市にご協力いただき、イーアスつくばにて、災害多言語支援センター設置・運営訓練等を実施しました。

災害多言語支援センターとは、日本語を十分に理解できないため「危険情報」が届かない等、不安を抱えている外国人に対し、災害関連情報をやさしい日本語や多言語で提供し、避難所巡回等で把握した外国人にニーズのある情報を多言語化して届ける等の支援を行う組織です。

今回の研修では、多言語支援センターの活動をシミュレーションする訓練や、避難所の外国人から困りごとを聞き取る訓練を実施しました。実際に外国人に接し、体験することで、文化の違い、実際に現場で配慮すべきこと等への気づきに繋がりました。

同日時に、外国人を含むつくば市民の方を対象とした外国人防災研修も実施し、参加者は防災に関する基礎知識を学び、災害が起こる前に揃えておくべき「MY備蓄リスト」を作成しました。参加者からは「母国との違いや、知らないことを勉強できて良かった。周りの友人にも伝えたい。」との感想をいただき、大変好評でした。

外国人の方に「安心」を届けるためにはどうしたらよいか、引き続き、関係者の皆さまと連携を図りながら、災害時の外国人支援に取り組んで参りたいと思います。



多言語支援センター設置・運営訓練



避難所巡回訓練

for you...

各国事情紹介講師募集中!

県内の小・中・高校や生涯学習講座などで、海外の文化等を紹介する講師を募集しています。外国人の方はもちろん、海外在住経験のある日本人の方も講師として登録できます。外国の文化や歴史等の紹介ができる方、民族の踊りや楽器演奏ができる方、外国の料理や遊びを通して子どもたちとふれあいたい方など、様々な形で外国について紹介できる方の応募をお待ちしています。募集は随時、詳細はお問合せください。

茨城県留学生親善大使を募集します

国際交流活動に意欲があり、県内の学校などで母国について紹介できる外国人留学生を「茨城県留学生親善大使」に任命します。(2023年6月頃に任命式開催予定)

興味のある方は、ぜひ当協会のホームページをご覧ください。



JICA海外協力隊 2023年度春募集のお知らせ

2023年度JICA海外協力隊の募集を5月19日(金)~7月3日(月)の日程で行います。

募集期間中、茨城県内ではJICA海外協力隊経験者の体験談が聞ける説明会や関連イベントを開催します。海外や国際協力、ボランティア活動に興味のある方ならどなたでもご参加いただけます。この機会に是非お越し下さい。



詳しい情報はコチラ→

23年度春期世界文化セミナー 参加者を募集しています!

毎回様々な国籍のゲストを講師に迎え、英語で母国を紹介した後、意見交換を通して、異文化理解を深めましょう。22年度秋期セミナーでは「南アフリカのファッションの発展」、「欧州とスペインにおけるローマ人の歴史と差別」、「イランの紹介」など多岐に渡るテーマと地域が取り上げられました。英会話力を高めたい方、各国の社会情勢に興味をお持ちの方、右記のQRコードよりは是非お申し込みください!



バナー広告募集中!

ホームページのトップページにバナー広告を掲載しています。

この機会にぜひ、国際交流や多文化共生等に興味がある方に、あなたの会社や事業をPRしてみませんか。

なお、バナー広告料収入は、協会の様々な事業に有意義に使わせていただきます。



賛助会員を募集しています!

当協会では、茨城県に在住する外国人の皆様が安心して生活できるように、多言語による相談事業や情報提供などを実施し、外国人の皆様にも住みよい地域づくりに努めています。また、より多くの県民の皆様が外国の方々と交流し相互理解を深める機会を提供するために、留学生や在住外国人の方々、交流団体の皆様と連携し、様々な交流事業も展開しています。

皆様からのご支援をもとに、さらに充実した活動を続けて参りたいと存じますので、賛助会員へご加入いただき、お力添えください。

会員になると、機関紙「ふれあい茨城」の送付、各種イベント等情報の提供、協会施設の優先利用、提携旅行社の割引などの特典があります。

また、賛助会員は、公益法人への寄付として申告により所得税や法人税の優遇措置の適用を受けることができます。

皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

| | | |
|------|------|------------------|
| 賛助会費 | 団体会員 | 1口 10,000円(1口以上) |
| | 個人会員 | 1口 3,000円(1口以上) |

*賛助会特典、税金の優遇措置の詳細については、当協会HPをご覧ください。



令和4年度 団体賛助会員 (令和5年1月末現在) ※敬称略

- | | | |
|---------------------|------------------|-------------------|
| 石岡商工会議所 | 鹿嶋国際交流ICサークル | 那珂市国際交流協会 |
| 「茨城アジア教育基金」を支える会 | 鹿島都市開発 株式会社 | 日本原子力発電 株式会社 |
| いばらき印刷 株式会社 | 鹿島埠頭 株式会社 | 東海事業本部 地域共生部 |
| 一般社団法人 茨城県医師会 | 鹿島臨海通運株式会社 | 日本語学校つくばスマイル |
| 公益財団法人 茨城県開発公社 | 鹿島臨海鉄道株式会社 | 日本労働組合総連合会 茨城県連合会 |
| 茨城県火災共済協同組合 | 北茨城国際交流会 | ヌーベルアーージュ 株式会社 |
| 茨城県行政書士会 | 株式会社 光和印刷 | ヌーベルキャリア株式会社 |
| 一般社団法人 茨城県経営者協会 | 古河市国際交流協会 | ヌーベルメディア株式会社 |
| 一般財団法人 | 国際ソロプチミストつくば | ハン サラン |
| 茨城県建設技術管理センター | コトプキ印刷 株式会社 | 常陸大宮市国際交流協会 |
| 一般財団法人 茨城県建設技術公社 | JA茨城県中央会 | 日立商工会議所 |
| 茨城県市長会 | 下館商工会議所 | 広沢商事 株式会社 |
| 社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 | 株式会社 常陽銀行 | ふじの会 |
| 茨城県商工会議所連合会 | 常陽トータルサービス 株式会社 | フレンドリーあんず |
| 茨城県商工会連合会 | 昭和建設 株式会社 | フレンドリージャパンワールド |
| 茨城県信用組合 | 鈴縫工業 株式会社 | 水戸内原国際交流ふれあいの会 |
| 茨城県信用保証協会 | 関野商事 株式会社 | 水戸商工会議所 |
| 茨城県青年海外協力隊を育てる会 | センター印刷 株式会社 | 水戸ユネスコ協会 |
| 茨城県世界青年 | 株式会社 高野高速印刷 | メサフレンドシップ |
| コミュニケーションクラブ(WYCCI) | 社会福祉法人 達生堂 城西病院 | 株式会社 めぐびりス |
| 茨城県中小企業団体中央会 | 筑西市国際友好協会 | 株式会社 ルックアット |
| 茨城県町村会 | 中国美術茨城推進協会 | ワタヒキ印刷 株式会社 |
| 茨城県日中友好協会 | チョップ サラン | 他1社 計72団体 |
| 公益社団法人 茨城県薬剤師会 | 株式会社 筑波銀行 | |
| 株式会社 茨城ポートオーソリティ | 株式会社 つくば研究支援センター | |
| 株式会社 茨城読売IS | 電機連合茨城地方協議会 | |

皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

Said & Did



第2回クエスト茨城留学生研修を実施しました



※撮影のため、一時的にマスクを外しています

秋のクエスト茨城留学生研修を、感染対策を徹底した上で10月15日(土)に実施しました。本ツアーは、留学生が茨城県への理解を深め、愛着を持って留学生活を送ることを目的としており、留学生29名が参加しました。

今回はJA茨城県中央会のご協力のもと、常陸太田市と大子町を訪問し、そば打ち見学、袋田の滝の散策、りんご狩りを行いました。

そば打ち見学では、職人による熟練の技を目で楽しみ、打ちたてのそばを味わいました。袋田の滝の雄大な景色を満喫した後、りんご園では思い思いにりんごを選び、自分で収穫する楽しさを体験することができました。

バスツアーを通して、今まで知らなかった茨城の一面を知ったり、他の学校の留学生と交流したりと、実りある一日を過ごすことができました。

ホームステイを実施しました! (茨城ふるさとファミリー事業)



22家庭のホストファミリーにご協力いただき、茨城県留学生親善大使等18名、外国人指導助手(ALT)等10名が、1泊2日のホームステイを通じて日本の生活を体験しました。ホストファミリーからは、「ゲストの国の文化の話や家族の話など、たくさん

語り合えました」、またゲストからは、「不安でしたが、本当の家族がそばにいるような温かさを感じました」との感想をいただきました。

なお、ホストファミリーを通年で募集しています。ご家庭で国際交流をしてみませんか。



外国人のための一日無料弁護士相談

茨城県内では、県西・県南地域に多くの外国人の方が住んでいます。当協会では、外国人集住地域での専門家相談の機会確保を目的に、例年「外国人のための一日無料弁護士相談」を実施しています。



11月6日(日)、県西地域在住の外国人を対象に、筑西市において相談会を実施しました。当日は、在留資格、労働問題、国際結婚、医療問題、その他生活全般について、17件の相談があり、5名の弁護士と各言語の通訳とで対応しました。

また9月11日(日)、県南地域在住の外国人を対象に、土浦市において相談会を実施しました。今回は、茨城県外国人材支援センターと連携し、弁護士に加えて社会保険労務士と行政書士にもご協力いただき、「外国人のための一日無料専門家相談会」として、より幅広い相談に対応できる体制を整えました。

当日は、在留資格、労働問題、会社設立、国際結婚、医療問題、年金、税金、その他生活全般について、48件の相談があり、各専門家と各言語の通訳とで対応しました。

「海外大規模災害被災者支援のための義援金募集」の結果について

(公財)茨城県国際交流協会は、NGO茨城の会とともに、海外において発生した大規模災害被災者に対して援助活動を行うNGO等を支援するため義援金を募集したところ、たくさんの義援金をお預かりすることができました。

援助活動を実施しているNGO等のうち、被災地での活動の有無や活動内容、及び今後の資金需要などを調査のうえ検討した結果、下記の団体に寄付させていただきました。

募金にご協力をいただきました多くの県民の皆様方に厚く御礼申しあげます。

アフガニスタン地震

- 義援金額 355,649円
- 寄付先 (特活)ピースウィンズ・ジャパン

パキスタン洪水

- 義援金額 402,261円
- 寄付先 (公社)シャンティ国際ボランティア会 202,261円
(特活)難民を助ける会 200,000円

トルコ・シリア地震

現在募集中! (令和5年4月10日まで)



令和4年度使い残した年賀状で国際協力しよう! 集計結果

令和4年度の書き損じハガキ等の集計結果は右記のとおりとなりました。

これらは、国際協力活動を行っている団体等に寄付をさせていただきました。

皆様のご厚意に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

- ・ 書き損じハガキ 1,690枚
- ・ 使用済切手 約13.8キログラム
- ・ 未使用切手 30,612円分
- ・ 外国紙幣 163枚
- ・ 外国コイン 約8.3キログラム
- ・ 現金類(テレホンカード換金等) 26,015円



寄付先: 茨城キリスト教学園キリスト教センター
特定非営利活動法人 シェア
特定非営利活動法人
日本国際ボランティアセンター
ユニセフ(茨城県ユニセフ協会、
日本ユニセフ協会)

なお、当該事業は今年度で終了となり、今後は各団体等に直接寄付いただくこととなります。(寄付先は、協会ホームページに掲載)

